

A - 22 次の記述は、短波(HF)帯の電波伝搬における電離層のじょう乱現象について述べたものである。□内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。

- (1) 太陽面上で局所的に突然生ずる大爆発(フレア)によって放射される大量のX線及び□Aが、下部電離層に異常電離を引き起こすため、太陽に照らされている地球の半面で、HF帯における通信が突然不良となり、この状態が数分から数十分間継続する現象を□Bという。デリンジャー現象
- (2) これはD層を中心とする電離層の電子密度が急に上昇して、HF帯電波の吸収が増加するために受信電界強度が突然低下するもので、太陽に照らされている地球の半面における□C地方を通る電波伝搬路ほど大きな影響を受ける。

A	B	C
1 紫外線	電離層(磁気)あらし	高緯度
2 紫外線	デリンジャー現象	低緯度
3 紫外線	デリンジャー現象	高緯度
4 荷電粒子	デリンジャー現象	高緯度
5 荷電粒子	電離層(磁気)あらし	低緯度

低緯度
デリンジャー現象

磁気あらし

X線 紫外線
質量なし

プロトン
質量あり

D層で電波が吸収

電離層密度あらし

日中 低緯度

MUFが下がる

HFが使える

高緯度 → 低緯度

長時間

HFが使えない

数時間 → 数日

